

2025/12/8

成形課 栗田

自治会の未来

今回は、自治会（町内会）のお話を少ししてみようかと思います。

自治会とは、町又は字の区域その他市町村内の一定の区域に住所を有する者の地縁に基づいて形成された団体。

全国で 298,7000 の自治会、町内会等が存在（総務省）

まず私が住んでいる町内の自治会ですが、自治会長と 5 人の副会長、そして数軒から数十軒を 1 グループとしてその代表の役員二十数人で構成されています。

さて、昨今御多分に漏れず我が自治会も運営に暗い影を落としているのが少子高齢化の波です。

特に私が住んでいる所は古くから住んでいる（いわゆる地の人間）が多く、かなり住人が高齢の方々で、私が役員をしていた 4 年間でも数軒のお年寄りの住人が施設に入いられて空き家になったり、跡取りも家におらず、高齢なので自治会の集まりにも出られないので自治会を抜けた方など組内の軒数がどんどん減っている状況でした。

また体力的にもしんどい為 80 歳以上の方は役員をするのを免除されるので、年々役員の担い手不足の問題も大きくなっています。



ただ全区域で見ても、かつて私が子供どころ田畑や山だった所が今では新たに数十軒もの家が建つ団地になり、若い人達も増えてます。

増えているはずですが！

自治会に入ってもらえない世帯もかなりあります。

これが現実です。

じゃあなぜ自治会に入らないのか？

その前に自治会とは、どのような活動をしているのか簡単に。

自治会の活動は地域の交流・安全・環境美化などを目的としています。地域差もありますが基本、住民が安全で快適な生活を送るために自主運営される組織。



地域の安全・安心に関する活動

防犯灯（街灯）の維持管理
防災訓練、災害時の助け合い
地域の危険箇所のマップ作り

環境美化・衛生に関する活動

道路や側溝、公園の清掃、地域美化活動
ゴミステーションの管理、資源回収

住民との交流地域

夏祭りや各種地域のイベント参加
子供会活動、高齢者への訪問
回覧板（地域の情報共有）

地域課題の解決と行政との連携

住民の意見を行政に反映させるパイプ役
地域に共通する課題の解決に向けた話し
合い等

ざっと書いてだけでもこのような活動があります。

結構大変そうでしょ？

自治会加入のデメリット何？

役員になると時間的な拘束があり、共働き世帯やひとり親世帯には負担に感じる。

役員でなくても地域の清掃活動や行事に参加しなければいけない。

地域住民との交流で人間関係が煩わしいと感じるかもしれません。

自治会費の負担がある。

お年寄りが上から目線でモノを言う！（笑）

自治会に入らない人のイメージもこんなものですかね？

実際役員の仕事の負担も多い、役員の仕事の押し付け合いみたいなのところもあります。

誰もやりたがらない会長を誰がやるかで揉めて、結局十数軒まとめて自治会を脱退などもありました。

自治会のメリットとは？

防犯活動。子供の登下校の見守りや、高齢者の安否確認。防犯パトロールや地域とのつながりが強ければ防犯にもつながります。

防災活動。防災訓練や避難訓練を行い、避難場所の情報共有。また自治会が避難場所運営の中心となる場合、加入世帯は支援を受けやすくなる可能性があります。

町内の公園や道路や側溝など公共の場所を定期的に清掃し地域の環境美化を担っています。

お祭りや運動会などといった行事を通じて、地域の方々と顔見知りとなり親睦を深めることができます。

自治会は行政の末端組織ではありませんが、地域住民とつながる重要な接点で、行政へ意見や要望を伝えやすくなり。また行政から情報を住民に回覧板などで共有したりします。

このようなメリットも多くあり、行政だけではとてもできないきめ細やかな所のケアを担う組織。それが自治会です。

よく「ゴミステーションだけあれば何も困らない」と聞きますが、実際それだけでは困ることや生活環境の悪化等も増えていくことでしょう。

ただ良くも悪くもまだまだ昭和の雰囲気が残る自治会ですが、今後存続するには、従来の活動内容を見直し、義務的慣例的に続けられている不要な業務を削除し、また業務の効率化を図り負担の軽減を行う。

若い世代や新規加入者が参加しやすい環境作り。

自治会活動を理解もらう努力。参加意欲を高める努力。

行政に効率化（デジタル化）の支援をしてもらう。（←ここが一番遅れている）

etc。。。

若い世代が参加しない組織は衰退していきます

あなたは自治会に入っていますか？

